

施策評価シート(令和元年度)

(基本施策の大綱) 2. 健康で生きがいを持てる暮らしの充実

(基本施策) (2) 健康づくり・地域医療の充実

(評価担当者)

健康福祉部長

古田 秀樹

基本施策が目指す姿

市民一人ひとりが、地域において、生き生きと健康に暮らしています。

関連する分野別計画

亀山市健康・医療推進計画

成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	R1	R2	R3		
1	がん検診の受診率(肺がん)	%	33.2	H27	32.4	31.5	31.0			35.0
2	がん検診の受診率(胃がん)	%	21.8	H27	22.0	20.9	21.1			25.0
3	がん検診の受診率(大腸がん)	%	32.9	H27	30.2	29.6	29.0			35.0
4	医業収支比率	%	77.6	H27	82.4	83.9	86.5			99.8
5	救急搬送の市内医療機関受入率	%	50.2	H27	47.3	40.7	40.0			50.0以上
6	国民健康保険被保険者1人当たり医療費の増加率(対前年度)	%	4.1	H27	2.6	3.0	8.1			4.0以下

市民アンケート調査

項目	現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1 健康教室や各種検診の内容が充実している	重要度	1.30	1.25	健康教室や各種検診については、広く周知を行いつつ、無料の受診券を配布するなどの手立てを講じたが、前回より、重要度・満足度ともに下降したため、行動変容を起こさせる周知方法や教室の内容の充実が必要である。医療機関の充実については満足度が前回よりやや上昇しており、医療センターの医師の確保や医療機関等との連携により、取り組んだ成果であると考えられる。
	満足度	0.46	0.44	
2 医療機関が充実している	重要度	1.53	1.51	
	満足度	0.27	0.24	
3	重要度			
	満足度			
4	重要度			
	満足度			
5	重要度			
	満足度			

総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B まずまず進んでいる	<p>定期予防接種については、高い接種率を維持しており、乳幼児の感染症の流行や重症化の予防につながった。しかしながら、各種がん検診の受診率は低下傾向にあり、更なる周知が必要である。健都さぶりプロジェクトの一環として、当市独自の健康マイレージ事業を開始し、参加者数は目標を達成できた。三重大学医学部への寄付による亀山地域医療学講座の継続により、医療センターに前年度と同数の医師を確保することができた。また、市全体の新型コロナウイルス感染症対策本部の事務局として各部署の対策をまとめ取組を進めてきた。</p> <p>しかしながら、国民健康保険被保険者の1人当たり医療費の増加率が目標を大きく上回るなど、今後の課題も多いことから総合判定をBとした。</p>
反省点・課題	
<p>各種がん検診の実施、中学生に対するピロリ菌検査の充実等新たな事業にも取り組んできたが、がん検診の受診率の低下を止めることや、特定健康診査・特定保健指導の受診率の向上をさせることができなかった。</p> <p>また、寄附講座の継続により医師の確保は前年度並みに維持できたが、救急搬送の受け入れ率が低下していることから、救急医療の受け入れ態勢の強化を図る必要がある。</p> <p>新型コロナウイルス対策本部の事務局として、各部署との連絡調整と市民への情報発信を更なる確に行う必要がある。</p> <p>国民健康保険制度では、1人当たりの医療費の増加率を目標に近づけるため、保健事業の充実などに取り組む必要がある。</p>	

今後の展開方針

がん検診の受診率低下を止め、特定保健指導の受診率を上げることにより、疾病予防と早期発見、早期治療に向けた取組を強化していく。また、健康マイレージ事業を継続させ、自ら健康づくりに取り組む方を増やす。

医療センターにおいては、寄附講座など医師確保対策を継続し医師の確保をするとともに、救急医療受け入れ態勢を更に強化することや病床の稼働率を向上させることにより経営改善に取り組む、一般会計からの基準外繰入れの抑制や健全な財政運営に取り組む。

新型コロナウイルスへの対応としては、各部署間との連絡調整や市民が安心できる素早い情報発信を心掛け、新たな取組を進めていく。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向		健康な暮らしの支援					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	定期予防接種については、対象時期に接種することが重要であることを個人通知や広報等を通じて啓発するとともに、関係部署や園と連携して接種勧奨を行った。また、引き続き亀山市健康マイレージ事業を実施するとともに、食生活改善推進協議会と連携して健康づくりのための料理講習会などを行った。		関係部署と連携して定期予防接種を勧奨することによって、引き続き高い接種率を維持できた。それにより、乳幼児の重症化等による入院はなく、感染症の流行や重症化予防につながった。また、健都さぶりプロジェクトの一環として開始した健康マイレージ事業や料理講習会を行うことで、市民の主体的な健康づくり活動を推進することができた。			
		まずまず進んでいる		評価			
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	3174	高齢者人間ドック・脳ドック事業		標	2,910 / 2,257	A	B
	4002-1	一般事業(保健衛生事業)		標	2,755 / 2,584	A	B
	4072	健康増進事業		標	10,948 / 10,633	A	B
	4005	健康づくり事業		標	2,116 / 1,892	B	B
4008	予防衛生事業		標	157,836 / 143,392	A	A	
事業以外の取組	内容					活動	成果

施策の方向		疾病予防と早期発見・治療の推進					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	がん検診及び特定健康診査に加え、ピロリ菌尿検査の対象を市内中学3年生に拡大し計画通り実施した。検診結果が要精密検査となった人に対して、医療機関から結果報告書を配布し、精密検査の受診勧奨を行った。また、亀山医師会、医療センターと連携して糖尿病重症化予防事業を実施した。		個別検診結果が要精密検査となった人に対し、医療機関から報告書の配布を行ったことや、ピロリ菌尿検査の陽性者に対して一次除菌治療費助成を行ったことで、疾病予防と早期発見・早期治療の推進を図ることができた。			
		まずまず進んでいる		評価			
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17041	特定健康診査・特定保健指導事業		主	29,020 / 21,061	A	C
	17042	がん検診推進事業		主	90,395 / 90,172	A	B
	17043	予防接種費用助成事業		主	7,300 / 6,627	A	A
	4076	特定健康診査事業		標	41,449 / 29,863	A	A
事業以外の取組	内容					活動	成果

施策の方向		地域医療提供体制の整備					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
A	活動	三重大学へ寄附を行うとともに、亀山地域医療学講座による医師の確保、医師会と連携し多職種連携のためのICTシステムの活用や休日・夜間・年末年始応急診療体制の継続、救急ワークステーションを行った。また、派遣された医師が、医療センターをフィールドとして、研修医や医学実習生を受け入れ、指導・教育活動及び地域での医療カフェを行った。		三重大学へ寄附を行うことで三重大学との連携強化を図り、安定的に市立医療センターの医師を確保し、一次応急診療体制の維持、在宅医療の推進、救急隊員の研修、地域への保健活動などを行い、地域医療体制の強化が図れた。			
		順調に進んでいる		評価			
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17044	三重大学亀山地域医療学講座支援事業		主	31,200 / 31,200	A	A
	4006	救急医療対策費		標	10,245 / 10,024	A	A
事業以外の取組	内容					活動	成果

施策の方向 医療センターの機能強化と経営健全化							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	給湯配管の改修工事を行い、また眼科手術用顕微鏡システム、FPD画像制御装置システム等の医療機器を購入する等、基幹的な施設及び設備の整備を行った。また、多職種間連携等により地域包括ケア病床の稼働率を高め、本市の地域包括ケアシステムの確立に寄与することに努めた。		評価	施設設備の長寿命化及び機能強化を図ることにより、安全・安心な医療が提供できる病院機能を維持することができた。また、地域包括ケア病床の稼働を高めることにより、この地域のニーズに合った医療を提供するとともに、病院の経営健全化にも寄与できたが、同病床については満床になることも多いため、増床に向けた準備も進めた。		
		まずまず進んでいる					
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
					/		
事業以外の取組	内容					活動	成果

施策の方向 安心できる公的医療保険制度の運営							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	国民健康保険事業については、データヘルズ計画に基づく保健事業の実施による医療費の適正化、国民健康保険税の収納率向上に取り組むとともに、適正な財源確保のため、税制改定を実施し、健全な運営に努めた。また、後期高齢者医療事業については、三重県後期高齢者医療広域連合と連携し、保険料の賦課徴収事務など市の事業を適切に実施した。		評価	医療費の適正化に取り組んだが、国民健康保険被保険者1人当たり医療費の増加率は8.1%で、目標値の4.0%を大きく上回る結果となった。しかし、国民健康保険税率改定の実施により、一般会計からの法定外繰入を解消するとともに、国民健康保険税の現年収納率は93.1%、後期高齢者医療保険料の現年収納率は99.3%で、公的医療保険制度を健全に運営した。		
		まずまず進んでいる					
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
					/		
事業以外の取組	内容					活動	成果